

令和3年度 第1回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

今年度の取組方針

令和3年11月5日

(1) 事業の目的

- ❖本県においては、観光客の約6割がレンタカーを利用する一方で、主要な公共交通である路線バスの利用割合は約1割と低く、過度なレンタカー利用に起因する那覇空港やその周辺の混雑などの課題が生じていることから、観光客の公共交通利用を促進する必要がある。
- ❖また、コロナ禍においては、公共交通においても、新しい生活様式への対応が求められている状況がある。
- ❖そのため、主に那覇空港を発着又は経由する観光客の利用が多い路線バス（以下、「観光系路線バス」という。）においてコンタクトレス決済導入に係る実証実験を実施するとともに、観光客の動態データの取得・分析を実施し、公共交通の利便性向上を図る。

(2) 事業の実施概要

- ❖これまでの取組内容・成果を踏まえ、本業務においては以下の取組を実施することで、公共交通の利用促進及び観光客の移動利便性向上を図る。

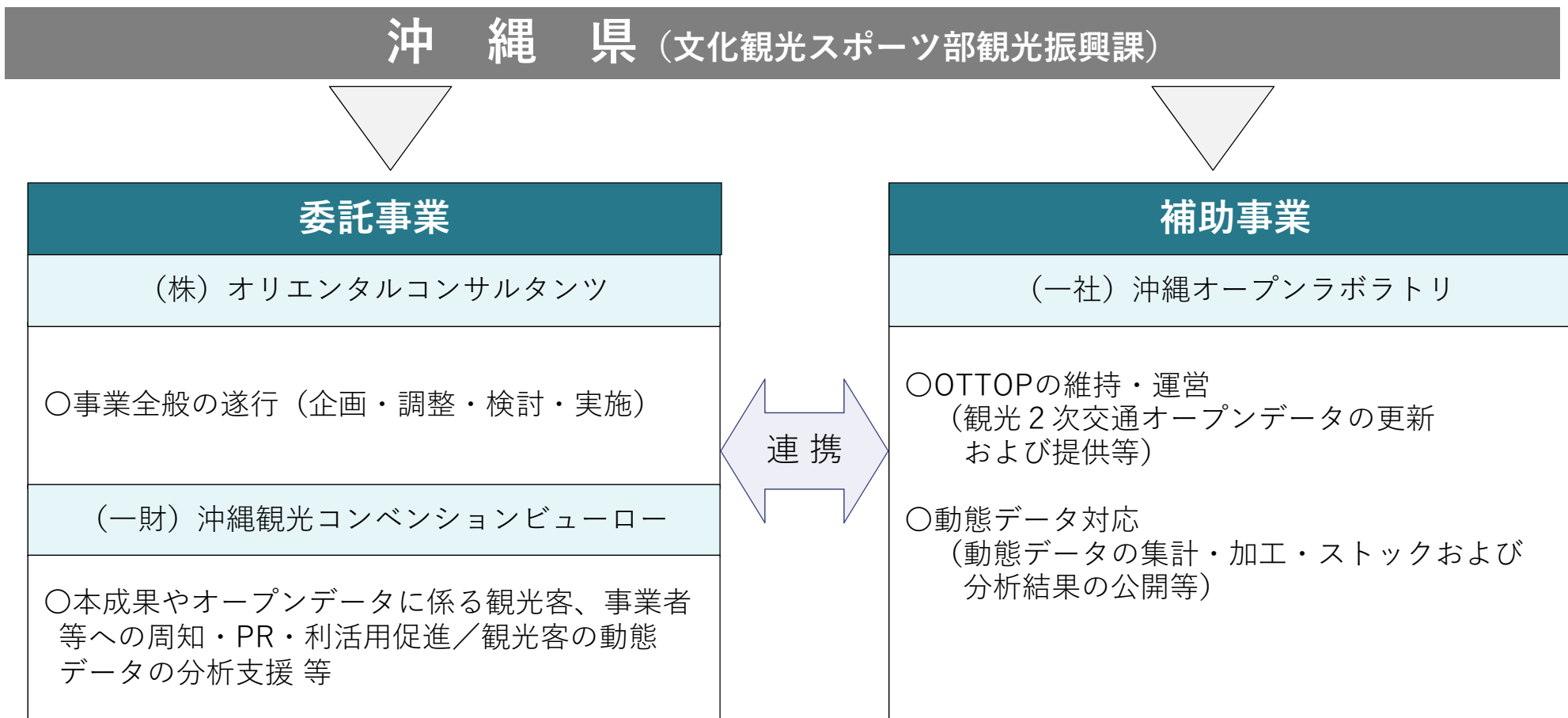
1 観光系路線バスのコンタクトレス決済導入に係る実証実験の実施

2 観光客の動態データの取得及び分析の継続

3 Googleマップでの経路検索等の観光客への周知・拡散

4 民間の大手検索サイト反映後の観光客の利便性向上の状況などオープンデータ化に伴う効果検証

(3) 取組体制



2. 実施内容および方法

(1) 観光系路線バスのコンタクトレス決済導入に係る実証実験

❖ウィズコロナ・アフターコロナの新たな生活様式への対応及びインバウンド需要回復を見据え、観光系路線バスにおいて、コンタクトレス決済（非接触型決済）の導入に関する実証実験を実施する。

①対象とする観光系路線バス会社

- ・主に那覇空港を発着又は経由する観光客の利用が多い下記の5事業者とする。
- また、各社の運行車両台数を考慮し協議のうえ、本事業では下記のとおり導入する端末機器の台数を想定している（調整中）。

対象とする観光系路線バス会社	今回の実証における 設置台数
東京バス	10台
カリー観光	5台
沖縄エアポートシャトル	14台
沖縄バス(リムジンバス)	5台（13台※）
やんばる急行	8台
計	42台（55台※）

※沖縄バスは、チケット販売窓口へ5台設置予定。バス車内への設置は調整中。設置する場合はバス車内に13台（計18台）を予定。

②導入するコンタクトレス決済の概要

- ・車両の乗降口付近に決済端末を設置。
- ・本事業ではクレジットカードのタッチ決済（VISA）から実施。
- ・今回導入する端末機器は、QRコード決済や電子マネーでの決済に対応しており、クレジットカードのタッチ決済以外については、各社のニーズ、契約等があれば各社ごとに対応。

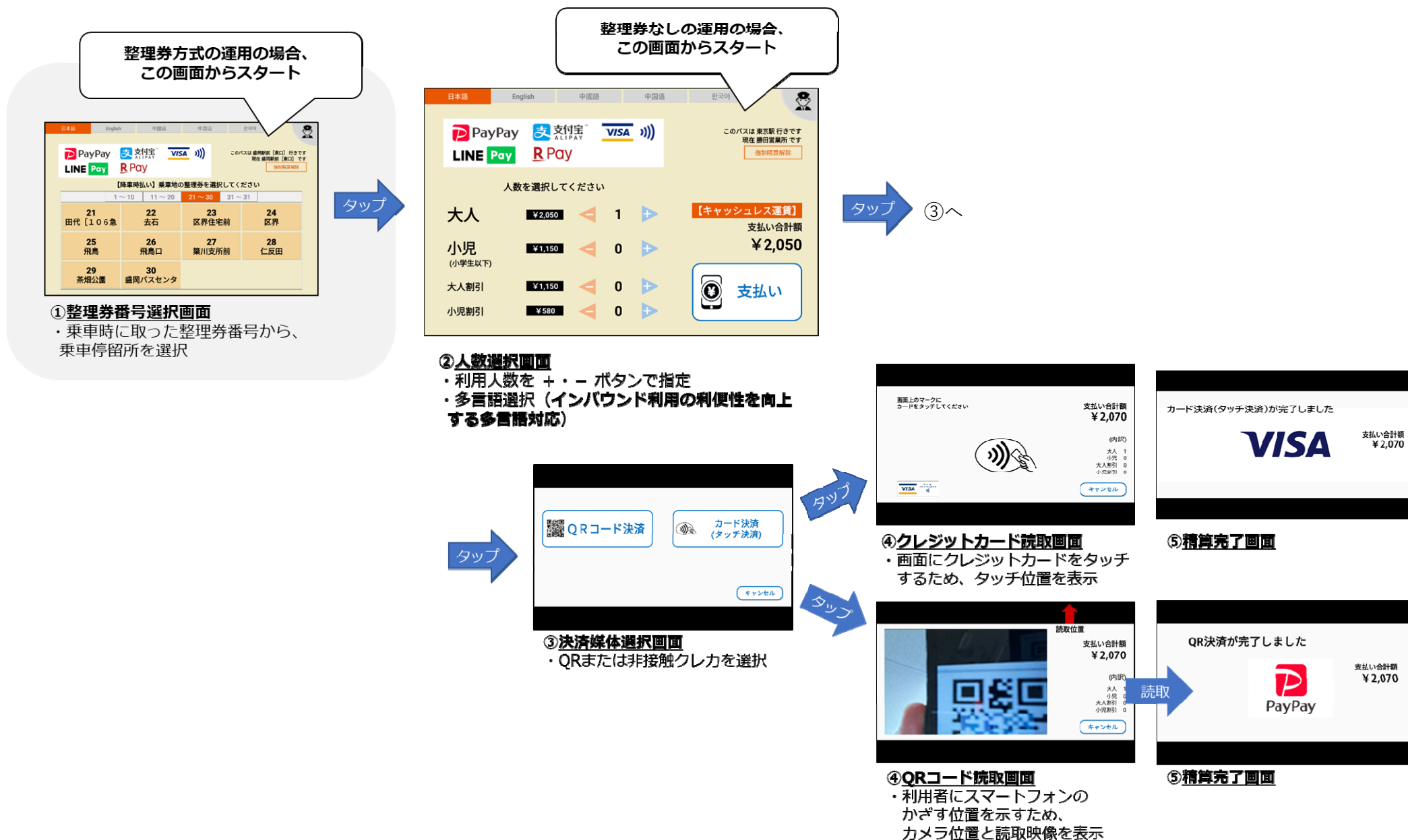
クレジットカード(タッチ決済)



2. 実施内容および方法

(1) 観光系路線バスのコンタクトレス決済導入に係る実証実験

【参考：コンタクトレス決済のUI（画面イメージ）】



2. 実施内容および方法

(1) 観光系路線バスのコンタクトレス決済導入に係る実証実験

③実証のスケジュール

・これまでに、各社との個別協議（各社2回ずつ）、および機器メーカー（小田原機器）も含めた合同会議を実施。

引き続き、2022年2月の実証開始に向け、バス会社との調整、開発、試験等を実施。

⇒現状は、各バス会社よりシステムの構築に必要な情報等を収集し、メーカーにて作業を進めていく段階

⇒また、ランニングコスト（手数料率、年度明け以降の保守費用等）、メンテナンス体制の検討を実施

【観光系路線バスのコンタクトレス決済導入に係る実証のスケジュール(案)】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①交通事業者よりシステム構築に必要な情報の収集						
②メーカーによるシステムの構築						
③自走化のスキーム検討 (手数料、ランニングコスト、保守体制など)						
④機器の準備、設置						
⑤フィールド試験						
⑥実証開始						

2. 実施内容および方法

(2) 観光客の動態データの取得及び分析

取得・分析①：レンタカーのGPSデータ

- ・レンタカー事業者と連携し、レンタカーにGPS取得機器を設置し、レンタカーを利用した観光動態を取得する。



【データ取得概要】

収集するデータ

- ・GPS取得機器から送信される位置情報データ（概ね60秒間隔）
- ・属性情報（性別・年齢・居住地等）

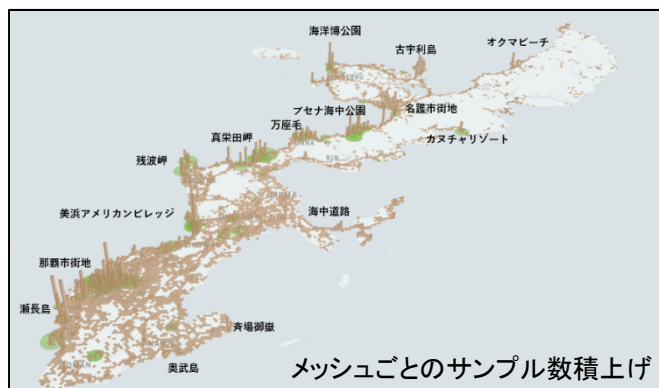
収集方法

- ・車両に設置されている車載機器から取得される位置情報を収集、もしくはレンタカー貸渡時にGPS取得機器を配布

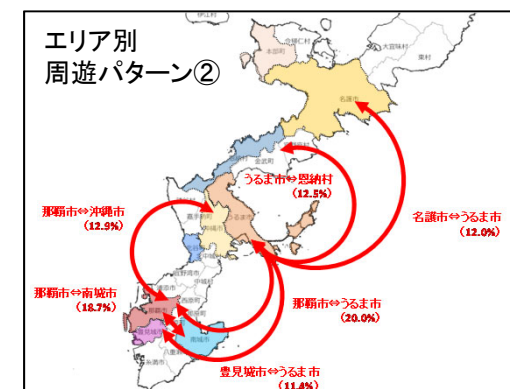
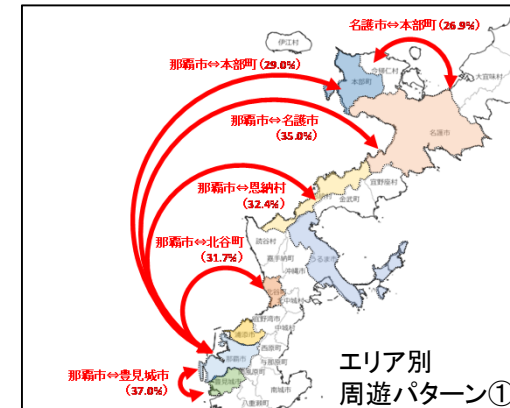
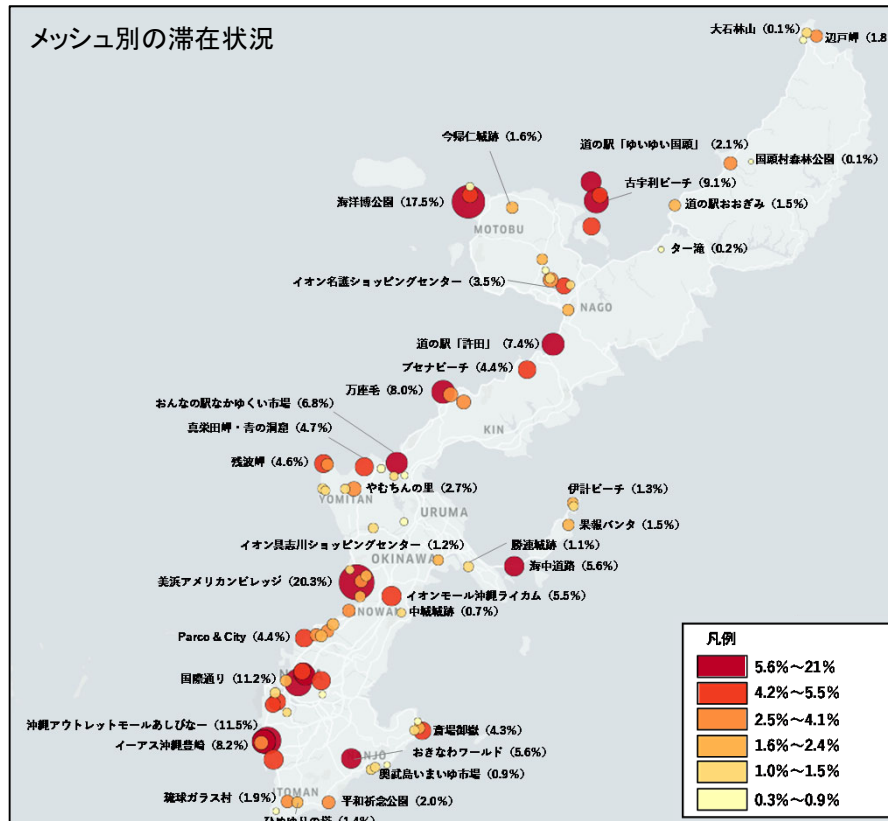
分析方法

- ・取得した位置情報より、訪問施設や周遊行動等を属性別に分析
- ・昨年度の調査結果との比較

【アウトプットイメージ(R2分析結果の例)】



メッシュ別の滞在状況



2. 実施内容および方法

(2) 観光客の動態データの取得及び分析

取得・分析②：公共交通のデジタルチケットを用いた動態データ

・公共交通のデジタルチケットを用いた動態データの収集・把握を行う。

➡今年度事業では、ジョルダン社との連携を想定（美ら海水族館入場料＋観光系路線バスの乗車運賃等のデジタルチケットの造成・販売を予定しており、その動態データを用いた分析（分析システムの開発）を想定）

➡属性情報（性別、年齢、居住地等）に加えて、バス乗降時や移動時（チケットアプリの表示、機器へのタッチ時）の動態データを取得可能

【取組概要】

収集するデータ	・バス乗降時や移動時（チケットアプリの表示、機器へのタッチ時）の動態データ ・属性情報（性別、年齢、居住地等）
収集・分析方法	・ジョルダン社が展開する公共交通のデジタルチケットの購入者に対して、乗車時、降車時にアプリを立ち上げることで位置情報データを取得（ジョルダン社の県内でのチケット作成の取組と連携）

【取組イメージ】



2. 実施内容および方法

(3) Googleマップでの経路検索等の観光客への周知・拡散

- ❖過年度に引き続き、沖縄の観光2次交通に係る検索が便利になったこと、Googleマップ等で経路検索が可能になったこと等の観光客への周知を実施する。

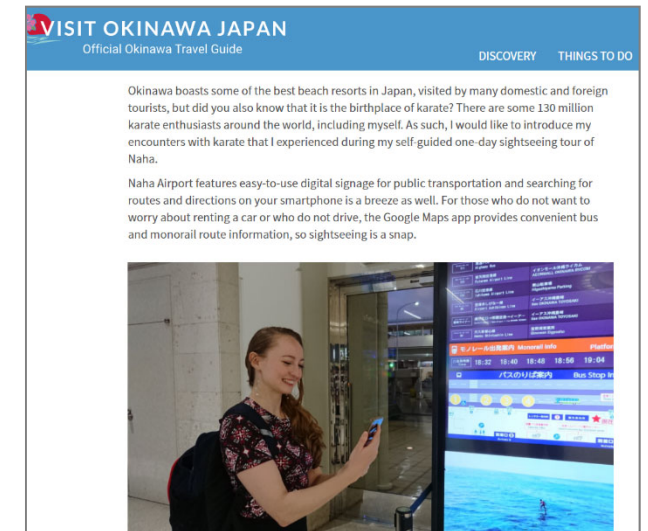
【沖縄観光2次交通ポータルサイトの運営】



【県内観光情報サイトでの周知】



おきなわ物語



VISIT OKINAWA JAPAN

【各種ガイドへの掲載調整】



【那覇空港のサイネージでの周知】



【観光案内所等でのリーフレットの配布】



2. 実施内容および方法

(3) Googleマップでの経路検索等の観光客への周知・拡散

❖また、OTTOPやオープンデータの利活用を促進することが結果的に観光客への周知・拡散につながることを踏まえ、OTTOPやオープンデータの利活用促進に資する以下の取組等を実施する。

- ・ OTTOPやオープンデータの利活用方法を解説する動画の作成
- ・ コンテンツプロバイダとの継続的な意見交換
- ・ イベント等での周知（リゾテック等での周知やワークショップの開催） など
- ・ OCVB会員誌やOCVB各チームと連携した周知（OCVBNews、YouTube・SNS、体験乗車、県内マスコミでの告知）
- ・ 観光協会、県内観光関係者、市町村等への周知（各種会合での情報提供を検討）
- ・ 観光情報オープンデータの利活用促進に向けた検討 等

【OCVBNews等での周知】



【ミス沖縄と連携した周知】



ミス沖縄がコンタクトレス決済orデジタルチケットを利用した体験乗車を行い、その内容(動画)を配信し、利用促進&PRを行う。

【ワークショップの開催】



【PR動画】



2. 実施内容および方法

(4) 民間の大手検索サイト反映後の観光客の利便性向上の状況などオープンデータ化に伴う効果検証

❖これまで観光2次交通機能強化事業で実施したオープンデータ整備等の効果を検証するため以下の調査を実施する。

①観光客アンケート調査

- ・観光客の本取組に対する認知状況や、公共交通の検索利便性の向上、不便・不満の有無、コンタクトレス決済の利用実態、利用意向等を把握するためのアンケート調査を実施する。
- ・具体的には、観光系路線バスの車内（座席）にQRコードを掲載したA4サイズのツールを設置し、WEBにて回答いただく。過年度までの調査結果と比較をすることで本事業の効果検証を行う。

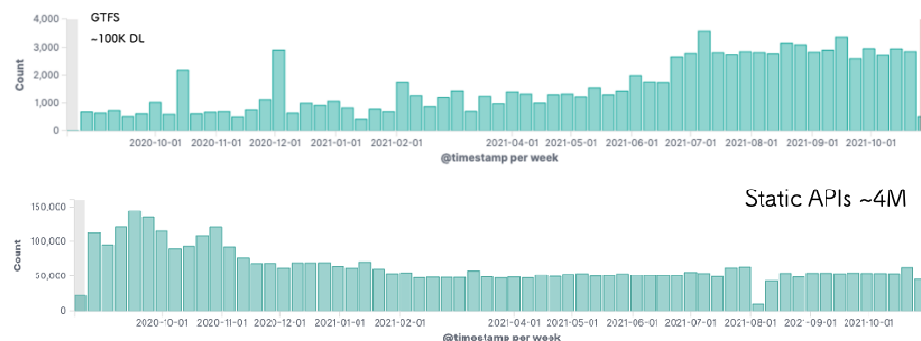
▼観光系路線バスの車内等にQRコードを掲載したツールを設置し、WEBで回収



②オープンデータの利活用事例調査

- ・本事業で整備したOTTOPおよびオープンデータの利活用事例を調査し整理する。

▼オープンデータ、APIのダウンロード数



活用事例の調査



(那覇空港や市町村等での公共交通情報提供での活用事例)

2. 実施内容および方法

(4) 民間の大手検索サイト反映後の観光客の利便性向上の状況などオープンデータ化に伴う効果検証

③乗換案内サイトでの掲載状況調査

- ❖前回に引き続き主要観光案内サイトにおける県内交通事業者の掲載状況について確認を行った。
⇒一部路線・船舶が検索可能となっている。

▼大手検索サイト等における路線検索の可否状況の事前・事後の比較（赤字は各前回の調査から増加した箇所）

調査時期	地域	Googleマップ	Yahoo!/ 駅すぱあと	ジョルダン	NAVITIME
①事前調査結果 平成31年1月時点	八重山	1/10事業者	2/10事業者	5/10事業者	4/10事業者
	宮古	0/6事業者	2/6事業者	2/6事業者	2/6事業者
	本島・ その他離島	3/33事業者	17/33事業者	16/33事業者	14/33事業者
	①事前合計	4/49事業者（8%）	21/49事業者（43%）	23/49事業者（47%）	20/49事業者（41%）
②事後調査結果 令和3年3月時点	八重山	10/10事業者	3/10事業者	4/10事業者	4/10事業者
	宮古	7/7事業者	4/7事業者	5/7事業者	5/7事業者
	本島・ その他離島	38/38事業者	20/38事業者	22/38事業者	32/38事業者
	②事後合計	55/55事業者（100%）	27/55事業者（49%）	31/55事業者（56%）	41/55事業者（75%）
③事後調査結果 令和3年10月時点	八重山	10/10事業者	5/10事業者	5/10事業者	6/10事業者
	宮古	7/7事業者	4/7事業者	6/7事業者	4/7事業者
	本島・ その他離島	37/37事業者	20/37事業者	23/37事業者	31/37事業者
	②事後合計	54/54事業者（100%）	29/54事業者（54%）	34/54事業者（63%）	41/54事業者（76%）
掲載状況の割合の変化（③-①）		+92pt	+11pt	+16pt	+25pt

※②では中央交通株式会社、東京バス、北中城、糸満市、南城市、第一マリンサービスの6事業者を追加

※③では北谷町コミバスが運行終了のため対象外とした

※調査対象は沖縄総合事務局運輸部へ申請を行っている事業者を基本としているが、不規則な時刻表、乗車完全予約制等、福祉利用のみの事業者は対象外とした。